

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2012-1-258
研究課題名	IgA 腎症の治療法と予後との関連に関する後方視的な多施設大規模研究
研究期間	西暦 2012 年 9 月（倫理委員会承認後）～ 2013 年 12 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（検査結果、治療内容の診療情報）
上記材料の採取期間	西暦 2002 年 1 月～2012 年 12 月
意義、目的	<p>意義：現在、IgA 腎症の様々な治療法について有効性や副作用の出現頻度について前向きの研究が行われていますが、IgA 腎症は経過の長い腎臓病であることから、前向き研究の結果が明らかになるには長い年月を要します。そこで、<u>腎臓病を専門とする医療機関が大規模に共同で、共通な臨床的重症度と治療効果判定基準をもちいた後向き観察研究をおこなうこと</u>によって、重症度、治療効果判定基準の妥当性、有用性を短期間で検証できます。</p> <p>目的：I g A腎症のさまざまな治療法とその有効性および副作用の出現頻度を明らかにします。その結果、IgA 腎症の患者様が最適な治療法を選択できるようにすることが本研究の目的です。</p>
方法	<p>腎臓病を専門とする医療機関が大規模に共同で行う臨床研究で「<u>多施設共同研究</u>」という方法です。この臨床研究では聖マリアンナ医科大学が共同研究の取りまとめを行います。東北大学病院で 2002 年 1 月より 2004 年 12 月までの 3 年間に、東北大学病院腎高血圧内分泌科において、初回の腎生検により IgA 腎症と診断された 20 歳以上の方を対象とし、腎生検時から通院中にわたっての臨床検査データおよび治療法を、匿名にした状態で、聖マリアンナ医科大学が管理するデータセンターに登録いたします。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学病院腎高血圧内分泌科 宮崎真理子 980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 電話：022-717-7163、Fax 022-717-7486